



授業デザインミーティング実施

今年度2回目の全校縦割りでの授業デザインミーティングを行いました。今回は、未来へのスケッチの活用状況や児童生徒の思いや願いを基にどのような実践をしてきたのか、児童生徒の変容や授業評価、今後の見通し、授業内容の検討などについてそれぞれの縦割りグループで話合いました。今回は授業研究会が終わった中2職業・家庭科と高2職業科についてお伝えします。

中学部2年 職業・家庭科 取組の様子について

夏休みまでの取組

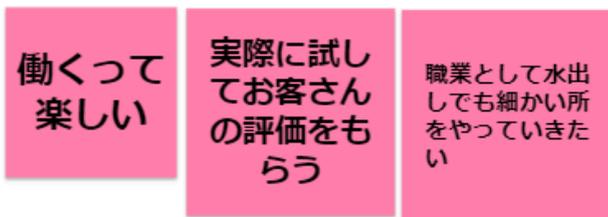
- ・校外学習でピザ屋さんに行き、お店の見学や質問をした。
- ・接客のポイントづくり「あいさつ・スマイル編」「身だしなみ編」「清潔編」「水出し編」「片付け編」を作成した。
- ・生活単元学習で調理。→生単のピザ屋さんで接客が必要。→職業・家庭で接客を勉強しよう!

児童生徒の変容

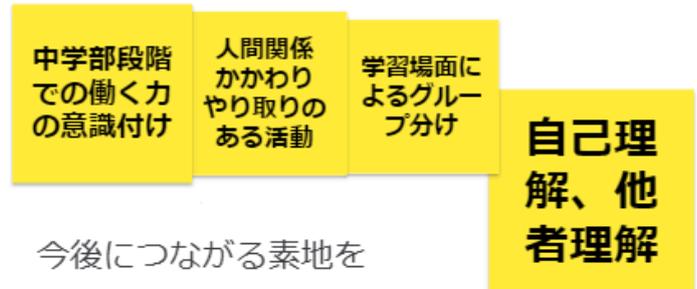
- ・自分たちで考えた「接客のポイント」を実生活の中で活用した。(手洗い・歯磨き)
- Aさんは普段は手洗いや歯磨きの時間が短いのですが、授業後は他の生徒と一緒に丁寧に手洗いや歯磨きをする姿が見られた。
- ・友達に拍手や肯定的な言葉掛けが増えた。
- Bさんは、友達を下に見る発言が多かったが、友達のロールプレイに対して拍手をしたり、「いいね」など肯定的な発言をしたりする姿が見られるようになった。

<ジャムボードによる話し合いから>

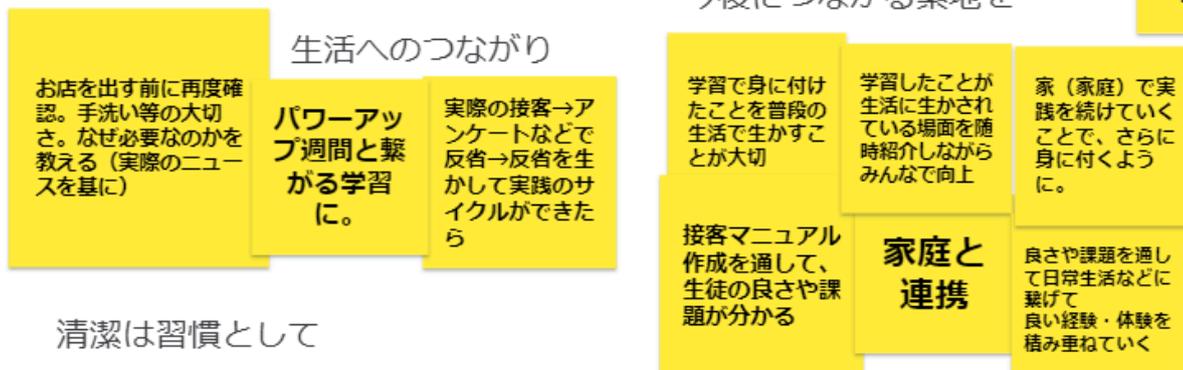
これからのこと



重度の生徒



今後につながる素地を



授業に生かせそうなアイデアのまとめ

- ・働く楽しさを実感できるよう、工夫する。
- ・お客さんからの評価をもらい、改善につなげる。
- ・水出しの一連の流れを繰り返し、お客さんを意識して水出しができるようにしたい。



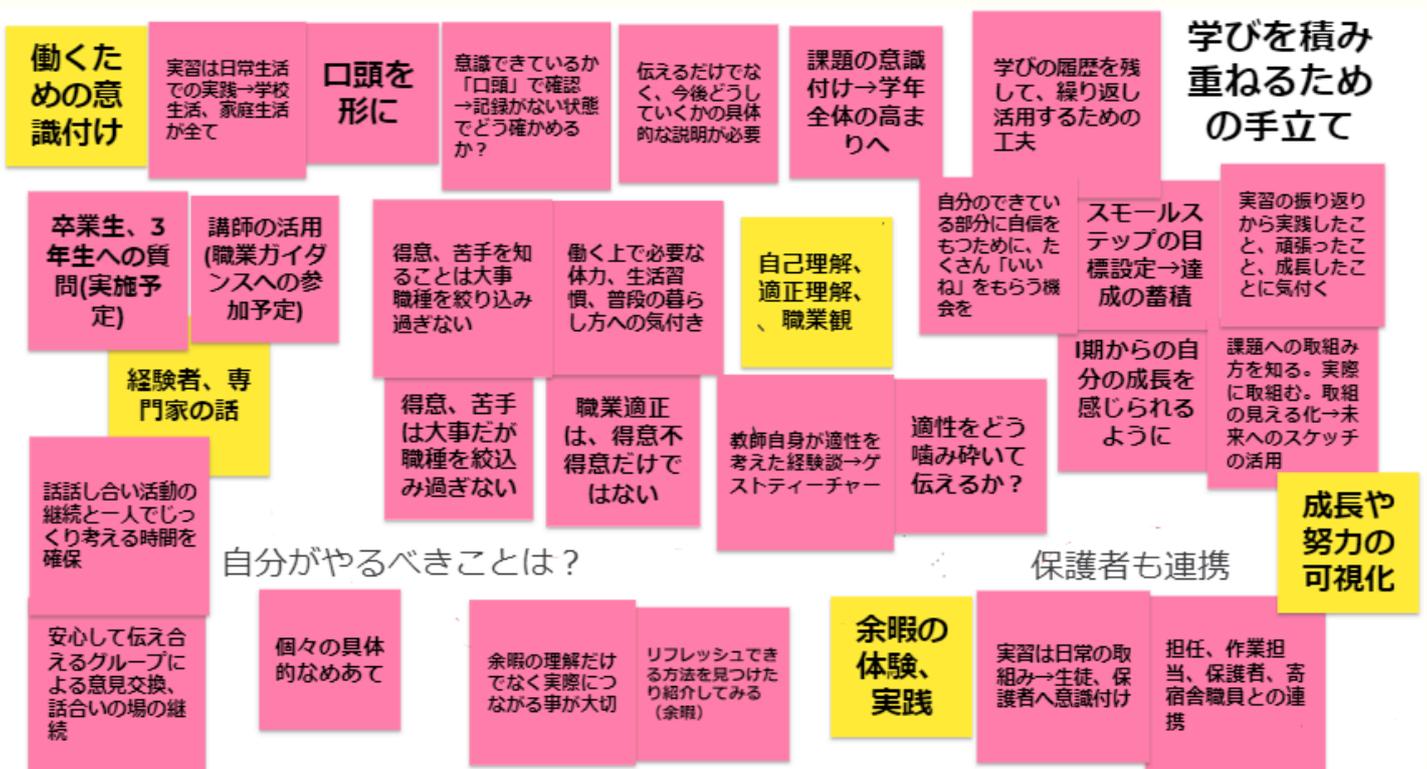
夏休みまでの取組

- ・頑張った部分やもう少し頑張らなければいけない部分を明確にするため、実習評価表を参考に、自己評価と他者評価を擦り合わせた。
- ・授業内容で取り上げた課題や今後頑張りたいことについて、意識できているかを口頭で確認した。
- ・現場実習を通して、自分の得意な事、不得意な事を考える時間を設定した。

児童生徒の変容

- ・実習を通して、今後取り組む活動について具体的に確認したことで、個々の成果と課題に気付けた。
- ・実習を通して、自分の得意な事、苦手なことに気付き、自分に向いている職種を考える機会となり、進路選択を考える手段になった。
- ・実際に体験したことを基に、相手に自分の考えや思いについて自信をもって伝えられるようになってきた。また、授業や話し合い活動を通して、友達の成功体験や失敗体験について情報の共有ができた。

<ジャムボードによる話し合いから>



授業に生かせそうなアイディアのまとめ

- ・生徒自身が学びの積み重ねを実感できるよう成長や努力の可視化を工夫する。
- ・高3や卒業生、外部講師を活用し、様々な経験、体験をした人から話を聞く機会を設定する。
- ・職業適性、自分の得意、不得意などを知る機会を重ね、自己理解へとつなげたい。
- ・保護者も巻き込みながら余暇についても大事にしていきたい。

